

長岡造形大学

入学試験

模擬問題

# 2027 年度 長岡造形大学 入学試験 模擬問題

## 目次

2027 年度 入試情報 .....	3
総合型選抜 1 次試験模擬問題	
デザイン学科 .....	4 - 5
美術・工芸学科 .....	6 - 7
建築・環境デザイン学科 .....	8 - 9
学校推薦型選抜 模擬問題	
提案書 .....	10 - 13
一般選抜（前期日程）模擬問題	
選択 B 提案書 .....	14 - 15
選択 A 平面構成 .....	16 - 17
選択 A 鉛筆描写 .....	18 - 19
一般選抜（中期日程）個別試験（美術・工芸学科）模擬問題	
デッサン .....	20 - 21
立体造形（粘土） .....	22 - 23

# 2027年度 入試情報

各試験の出願資格、試験内容等の詳細は学生募集要項をご確認ください。

2027年度入学定員 造形学部 230人（デザイン学科150人、美術・工芸学科30人、建築・環境デザイン学科50人）

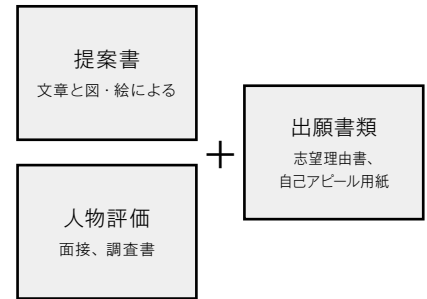
## 総合型選抜

募集定員 造形学部 60人  
（デザイン学科39人、美術・工芸学科8人、建築・環境デザイン学科13人）  
出願期間 2026年9月7日（月）－14日（月）  
試験日 1次試験：2026年10月4日（日）  
2次試験：2026年10月25日（日）  
合格発表 1次試験：2026年10月9日（金）  
2次試験：2026年11月2日（月）  
※大学入学共通テストは課しません



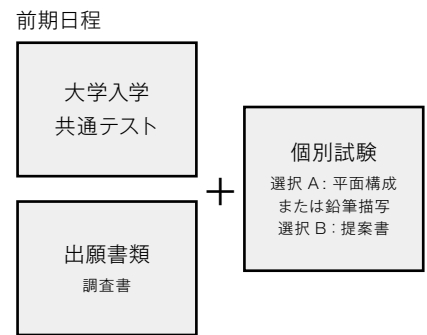
## 学校推薦型選抜

募集定員 造形学部 40人  
（デザイン学科26人、美術・工芸学科5人、建築・環境デザイン学科9人）  
出願期間 2026年11月6日（金）－12日（木）  
試験日 2026年11月28日（土）美術・工芸学科、建築・環境デザイン学科  
2026年11月29日（日）デザイン学科  
合格発表 2026年12月4日（金）  
※大学入学共通テストは課しません



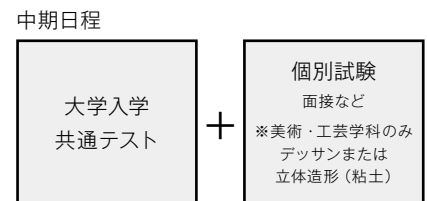
## 一般選抜【前期日程】

募集定員 前期日程 造形学部 100人  
（デザイン学科65人、美術・工芸学科13人、建築・環境デザイン学科22人）  
選択区分（選択A、選択B）別定員設定はありません  
出願期間 2027年1月25日（月）－2月3日（水）  
試験日 2027年2月25日（木）  
合格発表 2027年3月4日（木）



## 一般選抜【中期日程】

募集定員 中期日程 造形学部 30人  
（デザイン学科20人、美術・工芸学科4人、建築・環境デザイン学科6人）  
出願期間 2027年1月25日（月）－2月3日（水）  
試験日 2027年3月8日（月）美術・工芸学科、建築・環境デザイン学科  
2027年3月9日（火）デザイン学科  
合格発表 2027年3月20日（土）



# 総合型選抜 1次試験模擬問題 デザイン学科 課題制作

※この問題は 2026 年度総合型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

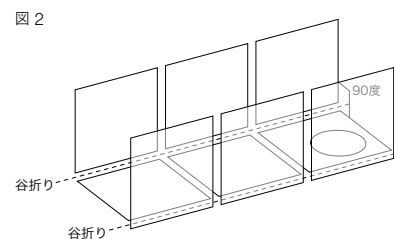
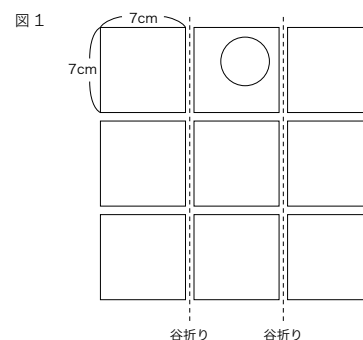
試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<p><b>試験時間</b> 150分</p> <p><b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、創造力、表現力及び取り組み姿勢を見る</p>	<p><b>評価のポイント (学科共通)</b></p> <p>出題意図を正しく理解し解釈ができているか 発想力、構想力、感性に優れているか 時間内に完成度高く制作を進められるか 自らの発想的確かつ意欲的に表現できているか</p>
---	---

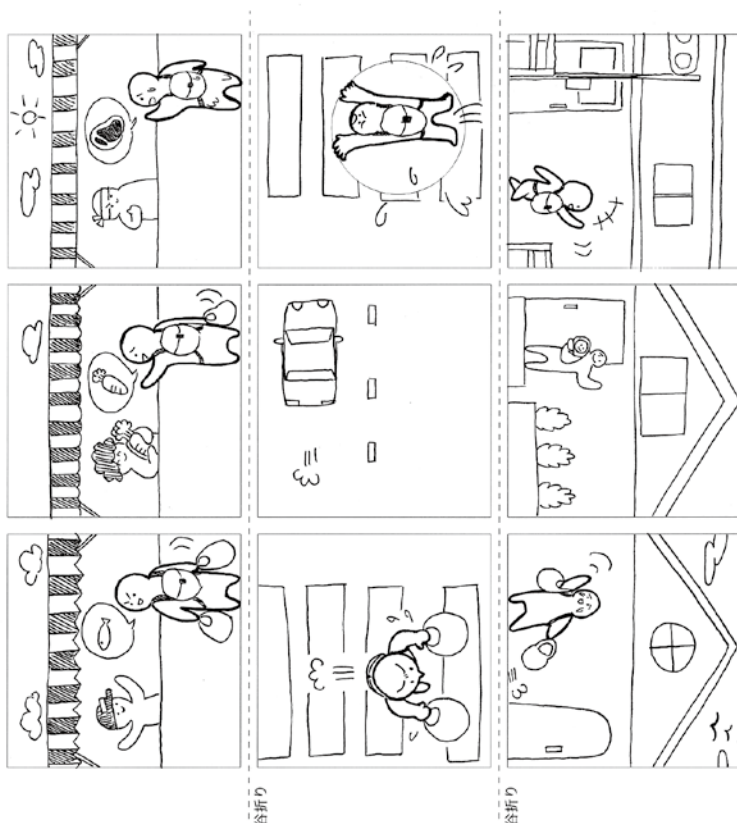
〈課題〉『冒険』を題材とし、その言葉から想像される行為・行動・様子を、解答用紙(図1)のそれぞれのマスに連続的に変化する図として表現しなさい。  
また、この『冒険』のタイトルと、制作意図を100文字以内(句読点は一字とみなす)で説明しなさい。

- 〈条件〉
- 解答用紙は折ってはいけない。
  - マスからはみ出し描いてはいけない。
  - 解答用紙のマスは、配布した黒サインペンのみで表現すること。(草案用紙は持参具を自由に使用して良い)

- 〈注意〉
- 9つ全てのマスを使うこと。
  - 解答用紙(図1)にあるように、図形が与えられたマスでは、その図形を利用してマス内を表現すること。
  - 「連続的な変化」の解釈は、空間的・時間的・物語的など自由とする。
  - 連続性を持たせる方向は自由とする。
  - 解答用紙に描かれた谷折りの破線に沿って、90度に折られた時のマス同士の位置関係を考慮すること(図2参照)。



## ●作品例 1



冒険のタイトル：

おかあさん、買って来たよ！

制作意図：

子どもにとっての冒険である、おつかいをテーマに選び、与えられた丸を水たまりに見立てました。親が見送っているようにも迎えているようにも見えるようにし、子どもの持ち物や成長していく表情で連続性を描写しました。

### 本作品の評価ポイント

「冒険」というテーマを大袈裟な出来事として捉えず、身近な「お遣い」で表した点にまずは惹かれた。マスごとに様々な店に立ち寄り、異なるものを購入し、そこでの動作や表情、手荷物の変化などを細かく表現しており、それらによって時間の経過と物語性が上手く表現されている。併せて、右列中央のマスでは「見送る」と「出迎える」の役割を同時に担い、ストーリーの循環も成されている。また、与えられた図形である「丸」を他に多く見られた「穴」ではなく「水溜り」と捉えたことも独自性を感じた点である。

解答に際し、特に重視する箇所は下記の3点である。

- マス内に与えられた図形を効果的に使い、表現できているか。
- マスとマスの中で連続的な変化がなされているか。
- 立体的な位置関係を考慮できているか。

**〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)**

鉛筆(シャープペンシル含む)、消し具、鉛筆削り具(カッターナイフを含む)、直定規、三角定規(雲形付きは不可)、コンパス、ティッシュペーパー

**〈大学で用意するもの〉**

サインペン中字1本、細字1本、A3草案用紙3枚、解答用紙(A3ケント紙)

**解答のポイント**

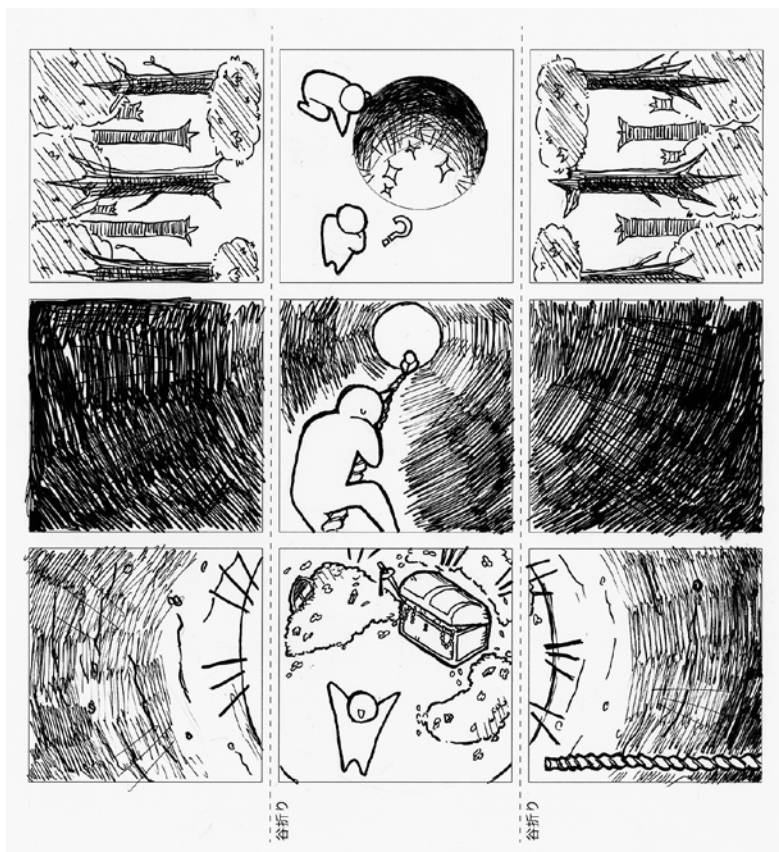
問題の出題意図を正しく読み解き、条件を満たした上で、問題文にあるように、

- マス内に与えられた図形を効果的に使い、表現できているか。
- マスとマスの中で連続的な変化がなされているか。
- 立体的な位置関係を考慮できているか。

以上を正しく押さえているかをポイントとした。

加えて、描写力の巧みさよりも、テーマである『冒険』や与えられた図形(円形)において、いかに発想の独自性が感じられるか、また、示した図と意図を記す文章の整合性が取れているかにおいても加点の要素としている。

**●作品例 2**



冒険のタイトル：

輝く穴の底で待っているのは・・・？

制作意図：

図形を落とし穴として考えた。輝いている穴の中に潜って、お宝を見つける冒険の様子を描写した。横一列をコマとしてとらえ、上から下への物語に連続性を持たせた。立体的になるよう上または下からの視点で描写した。

**本作品の評価ポイント**

与えられた図形である「丸」を「穴」に見立てた点は他と大きく違いはなかったが、9つのマスを上段、中段、下段の3段で区切り、3場面3コマで「冒険」を表現する大胆さにまずは目を惹かれた。加えて、場面毎に「見下げる」視点と「見上げる」視点を交互に、そしてダイナミックに表現し、コの字形に折り曲げた際にはより効果的に見える画面構成となっている。また、全ての場面で「穴」を継続して表現した点は類を見ない独創的なものであり、それによって目線の誘導と時間の経過が上手く表現できている。

# 総合型選抜 1次試験模擬問題 美術・工芸学科 課題制作

※この問題は 2026 年度総合型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

## 試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<b>試験時間</b> 150分	<b>評価のポイント (学科共通)</b> 出題意図を正しく理解し解釈ができているか 発想力、構想力、感性に優れているか 時間内に完成度高く制作を進められるか 自らの発想を的確かつ意欲的に表現できているか
<b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、創造力、表現力及び取り組み姿勢を見る	

〈課題〉 以下に記載する語群からテーマを選択し、自由な解釈で表現しなさい。

但し、テーマは1つの選択か、2つの選択の組み合わせによる。

また、表現意図をコンセプトシートに200文字程度で記述しなさい。

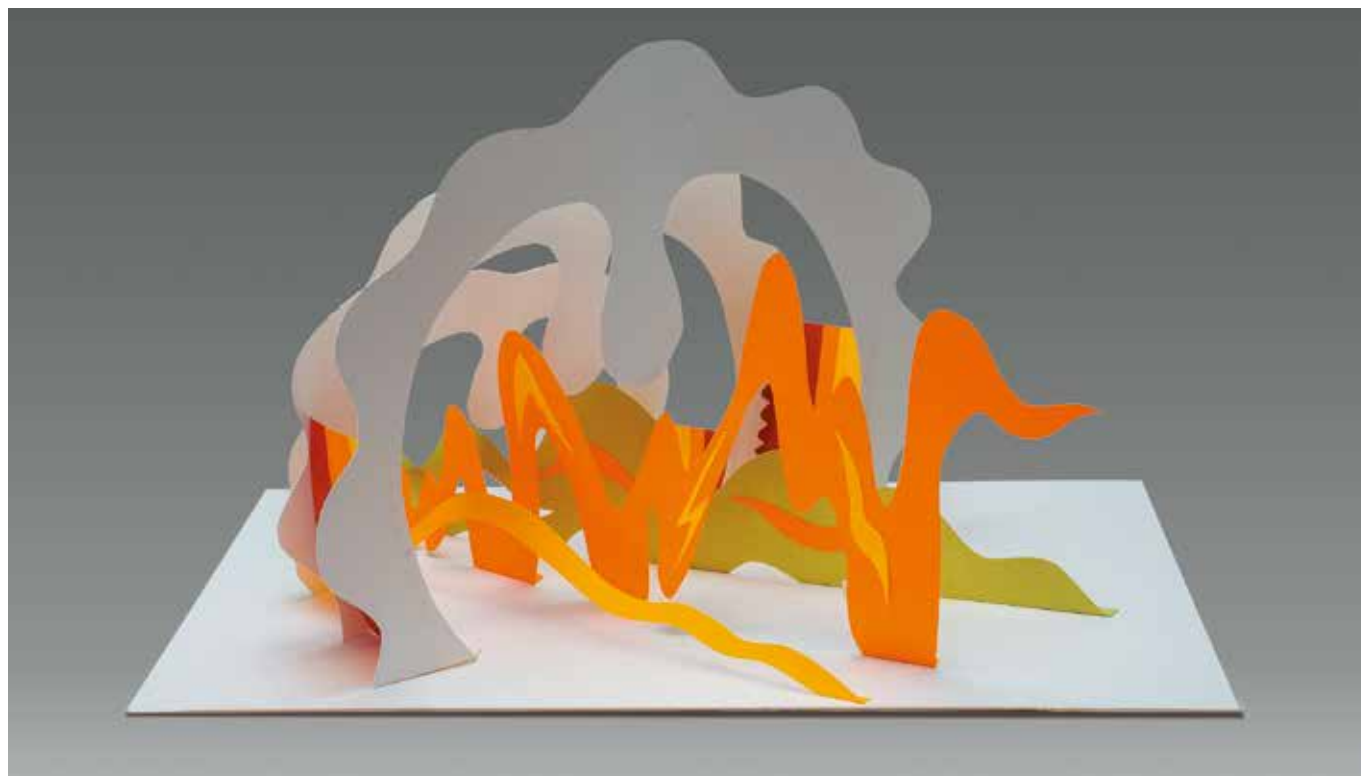
語群：「生命」「科学」「人」「AI」「重力」「水」「響き」

〈条件〉 ・ A3イラストレーションボード上に、与えられた材料（ケント紙、色画用紙）と持参用具を用い自由に表現すること。

・ 作風が立体的であったり平面的であったりすることは自由。

・ 制作物は持ち運びを行なっても、その形が変わったり壊れたりしないように画用ボードにしっかり固定すること。

### ●作品例 1 選択したテーマ：「人」「響き」



制作意図：

人と響きを選択し、人の声をイメージして表現した。日常の中で、遠くから誰かの声が響いて聞こえたり、また、特に風邪をひくと、のどが響く感覚があるなど考えて、のどのアーチを声が通っていくように表現した。人の声は低い声や大きな声、細い声など多様であるため、黄緑の画用紙で低い声を、波を大きくして大きな声を、線を細くして細い声を表現した。また、のどの奥から外まで声が出ていく様子をアーチの大きさを変えて動きを出すことで表現した。アーチ自体を波立たせることで、のどの震えを表現した。

#### 本作品の評価ポイント

選んだテーマから明快なコンセプトを立て、ダイナミックな構成で表現した作品である。レイヤー構造を使い全方向から見て楽しめる表現となっている。材料の特性を理解し丁寧な作り込みがされており、色の選択が活かされている。

- 〈注 意〉
- ・ A3 草案用紙 3 枚のうち 1 枚はのり付け時に使用し、残りの 2 枚は指示のメモやアイデアの下書きに使用すること。
  - ・ A3 草案用紙は課題制作終了後に全て回収しますが、評価の対象にはなりません。

〈志願者が持参するもの〉 (2027 年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)

鉛筆 (シャープペンシル含む)、消し具、直定規 (50cm 以上の長さが望ましい)、カッターナイフ (ペン型デザインカッター含む)、ハサミ、メンディングテープ、両面テープ、スティック型固形のり、三角定規 (雲形付きは不可)、コンパス、ティッシュペーパー

〈大学で用意するもの〉

色画用紙 (八切り 12 色入り) 1 包、B3 ケント紙 1 枚、A3 イラストレーションボード 1 枚、A3 草案用紙 3 枚、A2 カッターマット 1 枚、A4 コンセプトシート

解答のポイント

- ・ 出題テーマを柔軟に解釈し、造形表現をイメージできるか。
- ・ 与えられた材料の特性を活かし、イラストボード上に魅力的な創造的空間を表現できるか。
- ・ コンセプトが明確に表現されているか。

● 作品例 2 選択したテーマ: 「重力」「生命」



制作意図:

この作品は二つの立体物から構成されていて、無重力の空間に生きる生命をタコで表現している。赤い立体は、タコの赤色と、立体の角ではタコの触手を表している。白い立体は、タコの丸い吸盤を表し、立体の角では無重力を表している。私はタコを宇宙人として捉えた。どちらも無重力のような空間に生きる生命体であり、私たちが多くは知らない世界に生きている。タコとは何者なのかを考えてみてほしい。そこには宇宙人のような一面もまだ隠れているのかもしれない。角には宇宙人が隠れている。右上に

本作品の評価ポイント

選んだテーマから想像を膨らませ、作者の空想の世界へと引き込むユニークな作品となっている。コンセプトは一つの造形物の中に凝縮され、一見ただけではわからない工夫によって魅力的に表現されている。独自性を感じる作品である。

# 総合型選抜 1次試験模擬問題 建築・環境デザイン学科 課題制作

※この問題は 2026 年度総合型選抜で使用された問題を一部改編したものです。

## 試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<b>試験時間</b> 150分	<b>評価のポイント (学科共通)</b> 出題意図を正しく理解し解釈ができているか 発想力、構想力、感性に優れているか 時間内に完成度高く制作を進められるか 自らの発想を的確かつ意欲的に表現できているか
<b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、創造力、表現力及び取り組み姿勢を見る	

〈課題〉「集う (つどう)」空間を創造し表現しなさい。

どのような人、どのくらいの人数の人がどのように「集う」のか等の想定は自由とします。

ただし、想定した空間がだいたいどの位の大きさかを示すために人型の模型 (簡易なもので良い) を構成内に配置すること。

- 〈条件〉
1. 使用するもの 与えられた A3 ケント紙 5 枚、A3 コピー用紙 5 枚のみを使用すること。
  2. 立体表現
    - 人型の大きさは自由、数はいくつでも良い。
    - 立体表現が与えられた台紙 (A3 サイズ・スチレンボード) の範囲内に収まるようにすること。
  3. コンセプトシート 空間の制作意図を、タイトル、説明文 (200 ~ 300 字 句読点は一字とみなす)、スケッチ・図面等で美しく表現すること。

### ●作品例 1

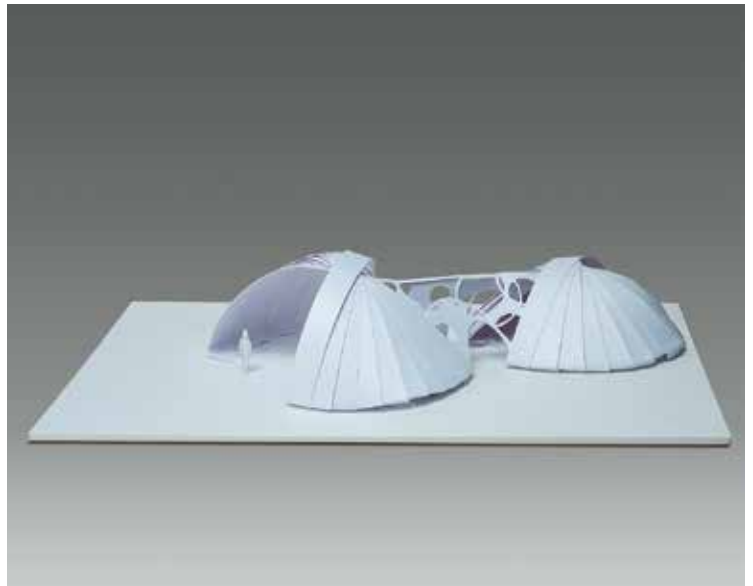
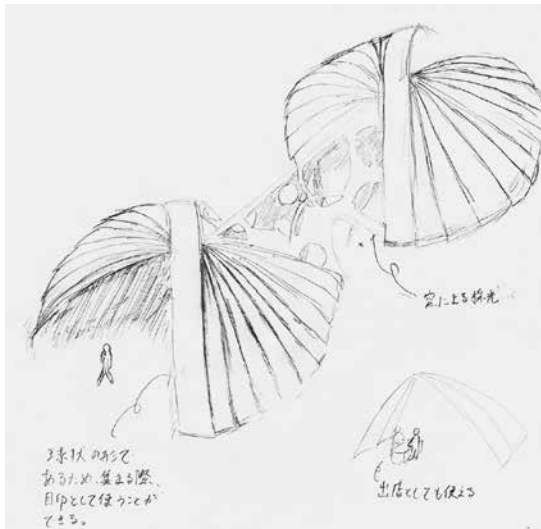
コンセプトシート

タイトル: 円の道

説明文:

集まるためには行きやすさが重要である。気軽に立ち寄ることができ、思い思いに過ごすことができる空間に人々は集まる。そこで私は集まる空間に入口を 5 つ設け、行き来のしやすさを重視した。また、空間を 2 つに分け、それぞれの高さ、幅を変えることで、それぞれのニーズに合わせた心地よい空間を展開した。そしてこの異なる空間を 1 つにつなげ、大きな通り道とすることで、人々だけが集まるのではなく、出店や舞台など様々な施設が集まる空間を目指した。また、空間と空間をつなぐ通路に特徴的な窓を設置することで採光し、明るさを保つこともできる。

スケッチ・図面等:



#### 本作品の評価ポイント

ネット上でも集う場が成り立つ時代において、まず「行きやすさ」に着目している点が評価に値する。また、集う場所として考えられる機能 (用途) も提案に含んでおり、使われ方の可能性を広げている。また、採光の工夫や建築物の形状が、時間帯によって変化する内部空間が想像できる。まさに、想像力を掻き立てられる作品である。

〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)

鉛筆(シャープペンシル含む)、消し具、カッターナイフ(ペン型デザインカッター含む)、カッター用定規、ハサミ、メンディングテープ、両面テープ、スティック型固形のり、三角定規(雲形付きは不可)、コンパス、ティッシュペーパー

〈大学で用意するもの〉

A3コピー用紙5枚、A3ケント紙5枚、A3スチレンボード1枚、A2カッターマット1枚、A3コンセプトシート

解答のポイント

- オブジェでなく空間を意識した表現を志向しているか。
- 空間的なコンセプトを立案し、それを立体とコンセプトシートで表現できているか。

●作品例 2

コンセプトシート

タイトル: 多様な居場所

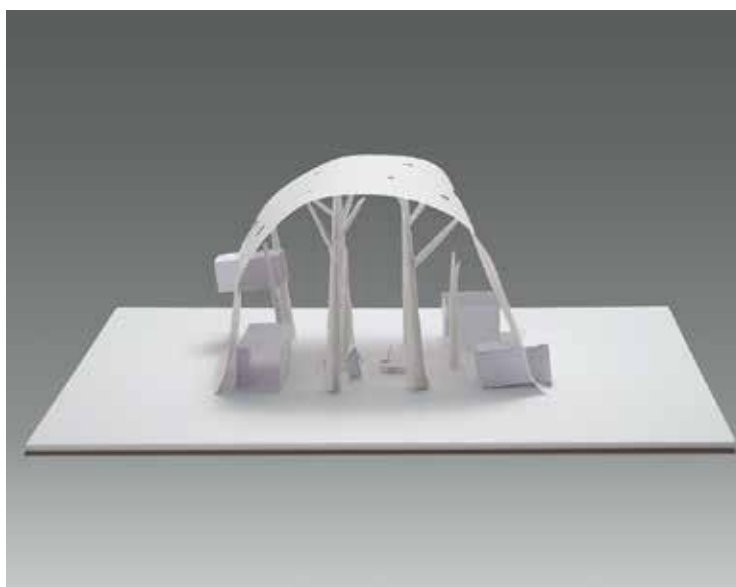
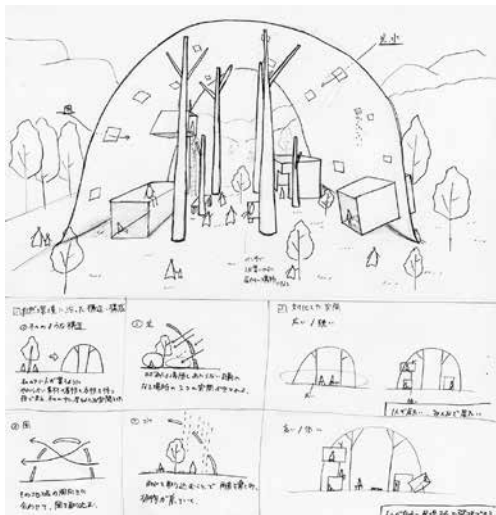
説明文:

人々の居場所となる空間を提案する。多様な人の居場所を創るために、多様な空間を創る。その多様な空間を次の2つで生む。

- ①自然環境に沿った構造・構成。木の下に人が集うようにこの建築も木々のような構造とした。また変化する自然環境を取り込むことでその季節、その時にしかない空間とした。
- ②対比した空間をつくる。広い/狭い、高い/低いのように対比した空間をつくることで人々が自分で居場所を選択できるようにした。

このようにして多様な空間を生み、人々の居場所となる建築とした。そして、多様な空間があることにより、多人数で交流したい人が集う場所、少人数で落ち着きたい人が集う場所ができ、集う建築となる。

スケッチ・図面等:



本作品の評価ポイント

変化する自然を取り入れるための工夫が、コンセプトシートで分かりやすくまとめられており、他者に自分の考えを伝えるためのプレゼン力の高さを感じる。また、建築を縦軸と横軸で検討したことで、人数の変化により居場所を使い分ける計画となっている点も評価に値する。

# 学校推薦型選抜 模擬問題 提案書

**模擬問題 1** ※この問題は 2026 年度学校推薦型選抜 1 日目（美術・工芸学科 / 建築・環境デザイン学科）で使用された問題を一部改編したものです。

試験科目インフォメーション（2026 年度 学生募集要項掲載）

<p><b>試験時間</b> 90分</p> <p><b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、構想力及び表現力を見る</p>	<p><b>評価のポイント（学科共通）</b></p> <p>出題意図を正しく理解できているか</p> <p>論理的な思考ができているか</p> <p>発想力、表現力、提案力が優れているか</p>
---	--

**〈問題〉** 現在、あなたは2050年の日本で生活している。

人為的な活動により地球の海面温度と平均気温が上昇し、気候変動が加速している。真夏の平均気温は40℃、最高気温は45℃に達し、海面温度の上昇に伴う大気中の水蒸気量の増加によって、突発的な大雨が日常化している。1週間のうち、大雨3日、小雨または曇り3日、晴れ1日あるかどうかという状況である。夏季には年1～2回、周辺道路の冠水や住宅の床上浸水が発生する。

これらの影響により、2025年には想像できなかった「生活の変化」が生じている。雨天が多くバルコニーでの洗濯物干しは困難となり、道路冠水日は傘や雨靴のみでは対応が難しい。高温多湿により熱中症の救急搬送も増加している。以上をふまえ、以下の問いに答えなさい。

問1 この時代の生活に欠かせない「大雨に関する新たな備え」を提案し、その概要を200字以内で記述しなさい。都市や建築空間・設備・家具・プロダクトなどに関わる提案や、既存製品のリ・デザインや応用的活用でもよい。その提案の目的や特徴、想定するユーザー（個人/高齢者世帯/店舗/公的施設など）、使用状況などを明記すること。

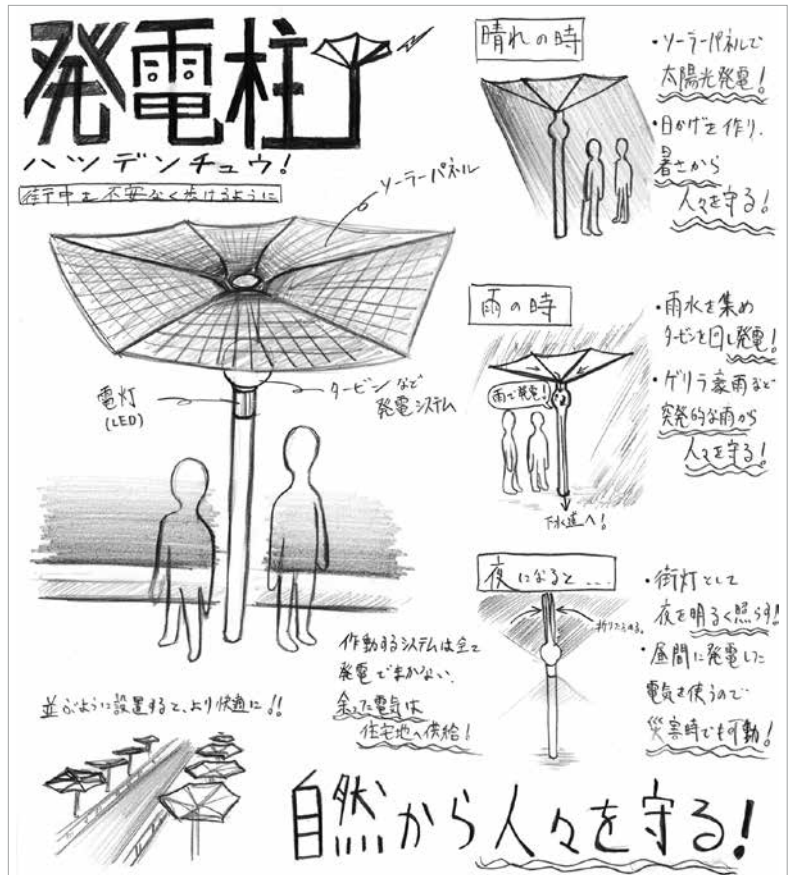
問2 発案内容について、形や素材、その使用状況などを、実現する事を想定して一般の人もわかるように、解答用紙の枠内（縦約27cm、横約23.5cm）に絵や図・記号などで示しなさい。また、発案内容のタイトルも示すこと。説明のための文字や寸法が含まれてもよい。なお、図中の文字は文字数に含めない。

## ●作品例 1

問1

暑い。急に雨が降ってくる。外出したくない2050年に『発電柱』を提案する。傘がひっくり返ったような独特のフォルムが、人々を日差しや雨から守ってくれる。だがそれだけではない。屋根にはソーラーパネルが、柱上部には雨水発電システムが装備され、晴れでも雨でも発電してくれる。夜は蓄えた電気で明るく照らす。余った電気は住宅地へ供給してくれる。全て発電柱内で完結するので災害時でも活躍！街の人々の生活を豊かに！

問2



### 本作品の評価ポイント

問1は、暑さと急な雨という課題提示は印象的で、発電柱の提案内容もわかりやすくまとめられている。問2では、発電柱の構成や、晴天時、雨天時、夜間の状況に応じた使われ方が示され、提案の特徴を表現できている。また、道路脇に発電柱が並ぶ景色が鳥瞰で描かれており、特徴ある都市景観を生み出す提案であることも伝わる。その姿を花に見立てるなど、より詩的なデザインとして表現できれば、さらに印象深い提案となっただろう。

〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)

筆記用具 (Bの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)

〈大学で用意するもの〉

解答用紙 (A3上質紙) 1枚、A3草案用紙2枚

解答のポイント

世界は、様々な状況が複合的に関係しあい、目の前の環境を成立させています。そうした環境要素の中から何を課題と捉え、どのような方法で解決するかを整理したうえで、魅力的な生活の実現につながる提案として伝えられているかを、評価において重視しました。本問題では、将来起こりうる環境の変化に対応する生活を対象としています。複数の問題が重なり合う世界を現実的な視点で想像し、その状況に対して矛盾なく、魅力ある提案としてまとめられているかを出題の狙いとしています。

問1

- 生活上の課題を捉え、提案の目的や必要性を的確に言語化できているか。

問2

- 発想や使用状況を整理し、自らの提案をわかりやすく絵や図・記号などを使って表現できているか。

●作品例 2

問1

道路冠水日にレンタルできる乗りものを提案する。冠水日は雨靴のみでは道を通ることができないので、この乗りものをレンタルして外出できるようにする目的のプロダクトだ。個人利用を想定したサービスだ。アプリと連携して使用予約ができる。雨が多いと気分が上がらないと思うが、この乗りものに乗ると海の生きものに乗って海の上を散歩しているような楽しい感覚になれる。このように心理的な利点もあるプロダクトだ。

本作品の評価ポイント

問1は、道路冠水時の外出という課題設定が明確で、提案の目的や仕組みもわかりやすくまとめられている。楽しい体験へつなげた発想も印象的である。問2では、イルカやアザラシなどの海洋生物の形をした乗り物が提案され、楽しい雰囲気が伝わる。また、アプリの使い方の説明から、使用方法も具体的に把握できる。一方で、道路の起伏によっては冠水しない場所も残ると考えられるため、水陸両用の提案であると、より現実味があつただろう。

問2



# 学校推薦型選抜 模擬問題 提案書

模擬問題 2 ※この問題は 2026 年度学校推薦型選抜 2 日目（デザイン学科）で使用された問題を一部改編したものです。

試験科目インフォメーション（2026 年度 学生募集要項掲載）

<p><b>試験時間</b> 90分</p> <p><b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、構想力及び表現力を見る</p>	<p><b>評価のポイント（学科共通）</b></p> <p>出題意図を正しく理解できているか</p> <p>論理的な思考ができているか</p> <p>発想力、表現力、提案力が優れているか</p>
---	--

**（問 題）** 食べることは生命維持に欠かせないだけでなく、味を楽しむことや他者とのコミュニケーション、健康、異文化交流などの様々なできごとと深く関わり、「食体験」として見直されている。

例えば、注文者のためにカスタマイズされた宅配サービス／食感が変化のお菓子／コップの口当たり／スマホを利用した注文／ロボットによる配膳／食器などへの映像投影／培養肉／3Dプリントされた食品…などの食前から食後までの様々な体験がデザインされている。

上記事例や自身の食べる経験を踏まえながら、下記条件を満たす「新しい食体験」を提案しなさい。

- （条 件）**
- 提案を利用する時間帯は昼時を想定とすること。
  - 提案は日常生活であなた自身も利用することを前提とすること。
  - 提案は3年以内程度で実現されることとして、技術的変化を想定して提案してもよい。
  - 上記問題文に記載した事例を発展させた提案も可とする。
  - 提案はサービスなど無形のものでも良い。プロダクトなどの実体として形を持つ物の提案を必須としない。

問1 提案の目的を1つ設定して記述しなさい。

問2 絵と言葉を用いて自由に提案しなさい。必ず体験のタイトルを解答枠内（縦約27cm、横約23.5cm）に自由にレイアウトすること。

問3 提案を実現することを目的として、あなたの提案に対する思いを他者に伝える文章を200字以内で記載しなさい。

## ●作品例 1

問1

味や匂いだけでなく、体で食べ物の食感を感じられるようにすることで、新しい食の体験をし、この体験を通して、人々の間にコミュニケーションするきっかけを作ることが目的です。

問3

私は、食べ物の食感を体で感じられるイスを提案します。私がこの提案をした目的は、人とのコミュニケーションを促進させたいからです。昼食は学校で食べる事が多く、友達と食べることもあります。その時イスが食感に合わせて、やわらかさが変わったら、どんな感じなのか共有したくと思います。また、今まで関りが無い人でも、どんな座りごちのイスが共有することで、仲良くなるきっかけになればいいと思います。

### 本作品の評価ポイント

視覚や聴覚による体験が多く社会実装される中で、身体性に着目し表現するという点が様々な提案の中で独創的だった。提案をプレゼンテーションする機会があった時に質問で出てきそうな、様々な食感の種類について比較できる事例を図化して伝える工夫もおもしろい。この提案を使うことでどのようにコミュニケーションを変容させたいのかもあるとなお提案が強化されるだろう。

問2



〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)

筆記用具 (Bの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)

〈大学で用意するもの〉

解答用紙 (A3上質紙) 1枚、A3草案用紙2枚

解答のポイント

新しい提案は誰も見たことも聞いたことも無いものです。そうした誰も知らないものの概要を分らせるだけでなく、魅力的に／実現し  
たくなるように伝えられているのかを評価において重要な点としました。本問題では、日常的に経験する行為を対象としています。自らの  
の経験をふりかえり、条件に記載された昼時・日常生活という制約をいかに自らの提案に組み込むのかを出題の狙いとしています。

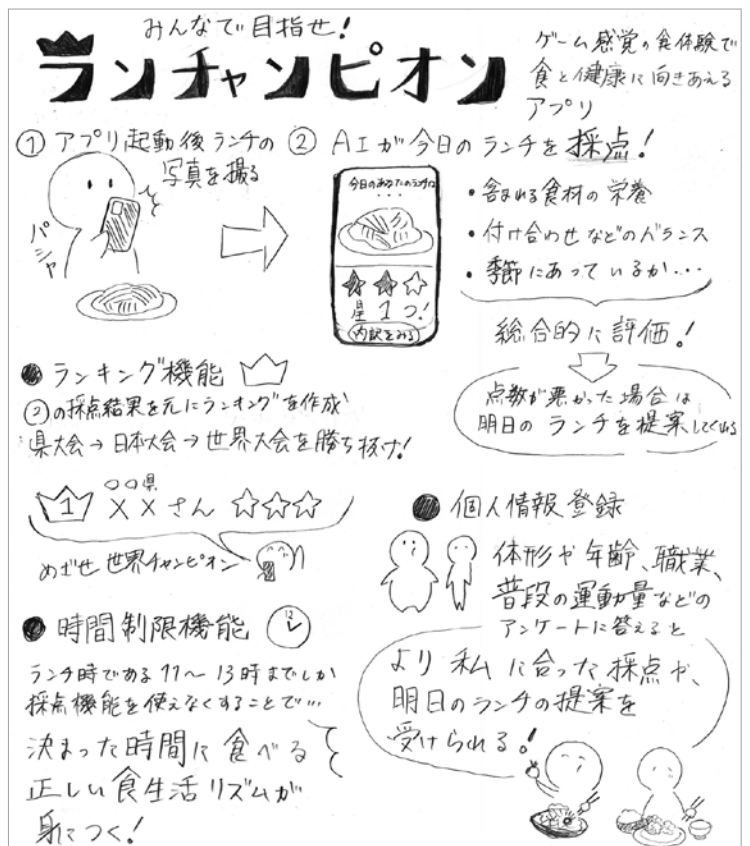
- 問1 端的に自らの考えを言語化出来ているかどうか。
問2 絵と言葉を組み合わせる自らの考えを表現できているかどうか。問1の目的と合致しているか。
問3 提案の魅力を自分自身理解し、限られた文章にまとめられているかどうか。

●作品例 2

問1 ゲーム感覚で、楽しく食と健康に向き合ってもらい、人々の食生活を改善する。

問3 私はこの提案で、より人々に良好な食生活を送ってほしいと考える。休日、自分でご飯作らなくてはいけないとき、面倒でついカップラーメンで済ませてしまったり、食事を抜いてしまうことがある。しかし、このアプリがあれば、ランキング機能によってゲーム感覚で昼食のメニューをより健康的に考えることができる。AIによる提案で自分に合った献立も知ることができるので、楽しいだけでなく実用的に活用してほしい。

問2



本作品の評価ポイント

サービスアプリという物理的な物が存在しなくても提案。サービスなどのできごとを伝えるためには段取りなどの文章が多くなってしまうが、レイアウトの整理や強調させたい部分の文字サイズを変更するなど解答欄内で強弱をつけて、伝えたいことを考えて目立たせるポイントを整理している点がよく考えられている。提案するだけでなく、提案によってどのように生活を変えたいのか。といった将来像まで書いてある点も良い着眼点である。

# 一般選抜(前期日程) 模擬問題 選択 B 提案書

※この問題は 2026 年度一般選抜 [前期日程] (全学科共通) で使用された問題を一部改編したものです。

## 試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<p><b>試験時間</b> 90分</p> <p><b>出題趣旨</b> 理解力、発想力、構想力及び表現力を見る</p>	<p><b>評価のポイント (学科共通)</b></p> <p>出題意図を正しく理解できているか 論理的な思考ができているか 発想力、表現力、提案力が優れているか</p>
---	---

**(問題)** 公園は、運動・休息・交流などをおこなう公共性の高い空間である。利用目的の多様化に伴い、幅広い利用者に対応する公園のあり方が求められている。この点をふまえ、乳児から高齢者までのあらゆる利用者が楽しめる公園の提案をなさい。

- (条件)**
- 公園の大きさは自由とする。
  - 公園は日中だけでなく、夜も安全に利用できること。
  - 提案は空間や設備などの物だけでなく、サービスや活動などの無形のものでもかまわない。
  - 公園の機能性を高める要素を少なくとも公園敷地内に1つ以上設置し、図に組み込むこと。  
例：園路／ベンチ／トイレ／遊具／照明 など、これら以外の設置物でもよい。
  - 上記設置物などに機能などを追加する提案でもかまわないが、公園の提案であること。

問1 提案のタイトルを15文字以内で記述しなさい。

問2 絵と言葉を用いて、解答枠内(縦約27cm、横約23.5cm)に自由に提案しなさい。ただし、公園の全体像が図などで視覚的に分かるようにすること。案内図として表現してもよい。

問3 なぜあらゆる利用者が楽しめる公園なのかを200文字以内で記述しなさい。

### ●作品例 1

問1  
げんき森森PARK

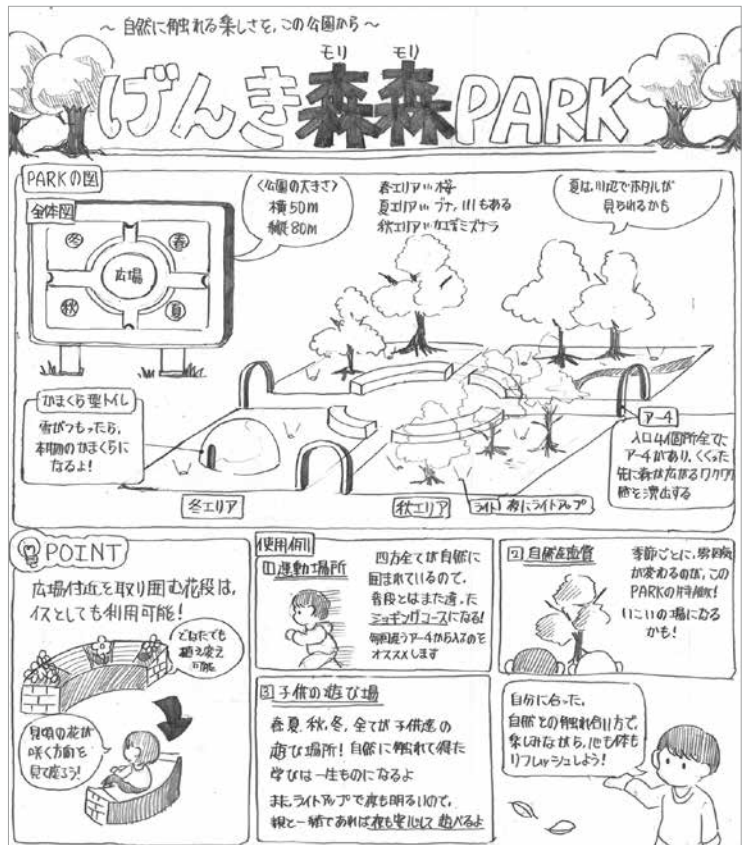
問3  
この公園はタイトルの通り、公園内で“森”を再現している。近年、主に都市では緑が減り、人々が雄大な自然を感じられる機会が少ない。そこでこの公園は訪れた人々に自然を提供する。例えば四季折々の花や、夏にはホテルなど、子供にとって楽しい経験になるだけでなく、大人や高齢者の方々も昔の自然を懐かしむ場所となる。また夜はそれらがライトアップされるので、昼間とはまた異なる見方で自然を楽しむこともできる。

#### 本作品の評価ポイント

タイトルが印象的で都市部を想定し、緑に囲まれた公園の印象が伝わってきます。

PARKの図の立て看板がまず目に入り公園の大きさまで描かれていて、全体像が斜めから見た図でわかりやすいですし、大きさのイメージもできる。春夏秋冬のゾーンがアーチ型の門で繋がれている。使用例の提案、ポイントも別の図で描かれ、この提案書1枚でどんな公園なのか分かります。さらに、文章で足りない部分を補い、子供から高齢者も楽しんでもらえるようにまとめられている提案書です。

問2



〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)

筆記用具 (Bの鉛筆・シャープペンシル、消しゴム)、直定規

〈大学で用意するもの〉

解答用紙 (A3上質紙) 1枚、A3草案用紙2枚

解答のポイント

公園という様々な年齢や利用者が存在し、少なくともこれまでに一度は利用したことがあるだろう公共空間を題材としました。あらゆる利用者が楽しめるという点が本問題の難しいポイントだと思います。多くの人がゾーニングすることを提案に採用している中で、ゾーニングそのものに意味を作ったり、ゾーニング方法を工夫した上での提案を、評価において重要な点としました。

- 〈問1〉 ・15文字以内で簡潔にイメージされた、テーマが書かれているか
- 〈問2〉 ・独自性があるか、絵や文章での表現力があるか。  
・乳児から高齢者までのあらゆる利用者が楽しめる公園の提案ができているか。  
・園内をわかりやすく提案できて、視覚的に表現され、機能性のある施設が1つ以上書かれていて、動線が考えられているか。
- 〈問3〉 ・利用者の楽しみ方、遊び方、過ごし方などが明確に文章にまとめられているか。

●作品例 2

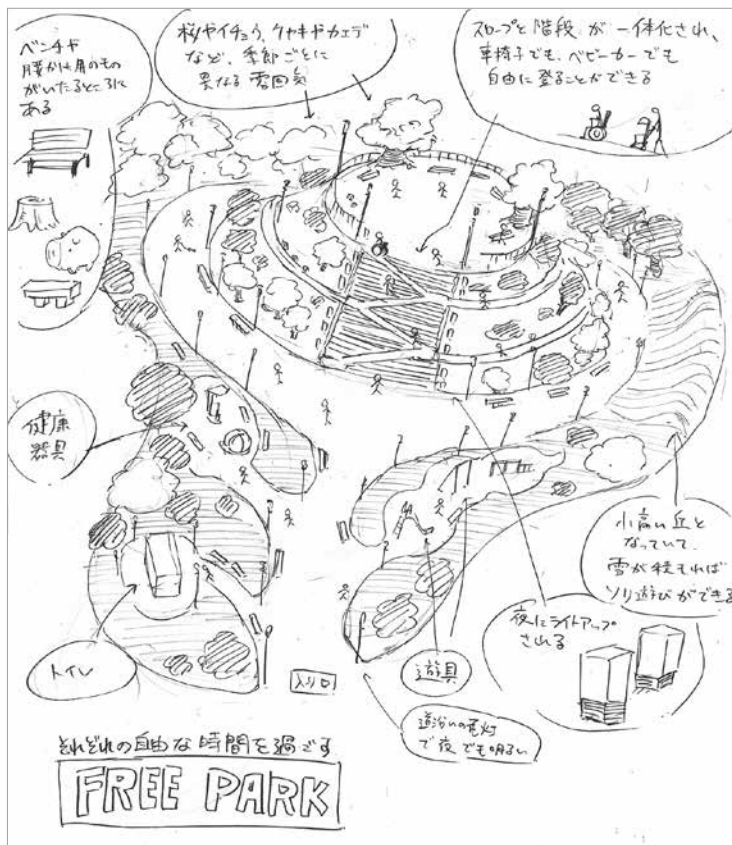
問1  
フリーパーク

問3  
大きく道幅をとることで利用者が各々の自由な時間を過ごせるようにした。公園の中心に高低差をつけ、登ることで上の空間に特別感を持たせる。スロープと階段が一体化したことで身体的特徴による利用者の分離が起こらなくなる。桜や楓などの季節の植物を植えることで季節ごとに見どころを作り、花見やデート、遊びや運動、交流など様々な用途に使うことができる。夜も電灯やライトで照らされるので安心である。

本作品の評価ポイント

提案のタイトルを見た時どんな公園なのかと想像でき、文章を読んだ時ワクワク感が伝わってきた。道幅を大きく取ることですれ違いがしやすく、自由に空間を過ごすことが感じられた。中心部を高く高低差をつけることで立体的な表現がされ、スロープ、階段をつけることで、健常者からお年寄りまで隔たりがなく行き来できる工夫、季節の木々も植えられている。夜の照明のことも書かれている。絵と文章を見ると、なだらかなスロープでゆっくり散策しながら頂上へいけ、車椅子、ベビーカーを押しながら行く様子もあり、子どもは元気に階段を登り楽しむ様子も良い。子供から大人全ての人が楽しめる公園になっている。

問2



# 一般選抜(前期日程) 模擬問題 選択 A 平面構成

※この問題は 2026 年度一般選抜【前期日程】で使用された問題を一部改編したものです。

試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<b>試験時間</b> 180分	<b>評価のポイント (学科共通)</b> テーマに対しての独自の発想力
<b>出題趣旨</b> 平面を構成する造形力及び、色彩感覚の能力を見る	テーマに即した色彩表現 対比・調和・動きなどを含む画面構成力

〈問 題〉 各自でテーマを設定し、モチーフ（下写真）を活かした色彩構成をなさい。  
また、その制作意図が分かるタイトルを付けなさい。



〈モチーフ〉 底辺180mm、高さ60mm、厚さ9mmの立体

- 〈条 件〉
1. 与えられたA3ケント紙イラストレーションボード縦位置の中央に、縦297mm×横210mmの長方形を描き、その長方形内を画面とする。
  2. モチーフの形状や比率などは変えてはならない。
  3. モチーフの表現方法は、平面的な表現や立体的・空間的な表現など自由とする。

## ●作品例 1

タイトル：

演者の舞



### 本作品の評価ポイント

この作品は、与えられたモチーフの方向性を生かし、空間に浮遊するような感覚を効果的に表現しています。また、背景色との色相や明度の関係によって視線を画面の上下中央へ導き、バランスの取れた画面構成となっています。

4. 配付されたモチーフの素材に捉われず自由に表現してよい。
5. モチーフの輪郭線には幅を持たせない。
6. モチーフは画面からはみ出しても良いが、元の形が分かる範囲とする。
7. 使用色数は自由とする。
8. 平塗り、ぼかし、かすれ、にじみ等の彩色表現は自由とする。
9. 画面内は余白を残さず彩色する。また、画面外は彩色せず、イラストレーションボードの白地をそのまま残す。

**〈志願者が持参するもの〉(2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)**

不透明水彩絵の具、筆（平筆、丸筆、面相筆など）、絵の具皿またはパレット、筆記用具（鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター・紙やすり等）、コンパス、三角定規（30cm程度・1組、雲形付きは不可）、直定規（60cm1本、溝引き定規も可）、筆洗、雑巾 ※水差し、溝引き棒、カラス口、マスキングテープの持参可

**〈大学で用意するもの〉**

A3ケント紙イラストレーションボード1枚、A3草案用紙3枚、モチーフ1個

**解答のポイント**

- モチーフの持つ形や特徴をよく観察し、その形が持つ情報やそこから受ける印象を整理したうえで、構成や配色を検討できているか。
- 構成において、モチーフの配置によるリズムや視覚誘導を意識し、全体に変化のある画面づくりができているか。
- 配色において、色相や明度の関係を工夫し、画面に統一感と奥行きをもたらしているか。
- タイトルが、テーマ設定や作品の意図を伝えやすいものになっているか。

**●作品例 2**

タイトル：  
朝光のきらめき



**本作品の評価ポイント**

この作品は、配色による視覚誘導が効果的に機能しており、視線を自然に画面内へと導いています。また、与えられたモチーフを連続的に配置することで画面を分割し、背景を単一の色で処理するのではなく複数の色を用いることで、奥行きや変化が加わり、画面全体に豊かな表情と広がり生まれています。

# 一般選抜(前期日程) 模擬問題 選択 A 鉛筆描写

※この問題は 2026 年度一般選抜 [前期日程] で使用された問題を一部改編したものです。

試験科目インフォメーション (2026 年度 学生募集要項掲載)

<b>試験時間</b> 180分	<b>評価のポイント (学科共通)</b> コンポジション・バランス・スペースなどを意識した画面構成力 モチーフ各々のプロポーション把握力 質感表現力
<b>出題趣旨</b> 発想力、描写力、画面構成力を見る	

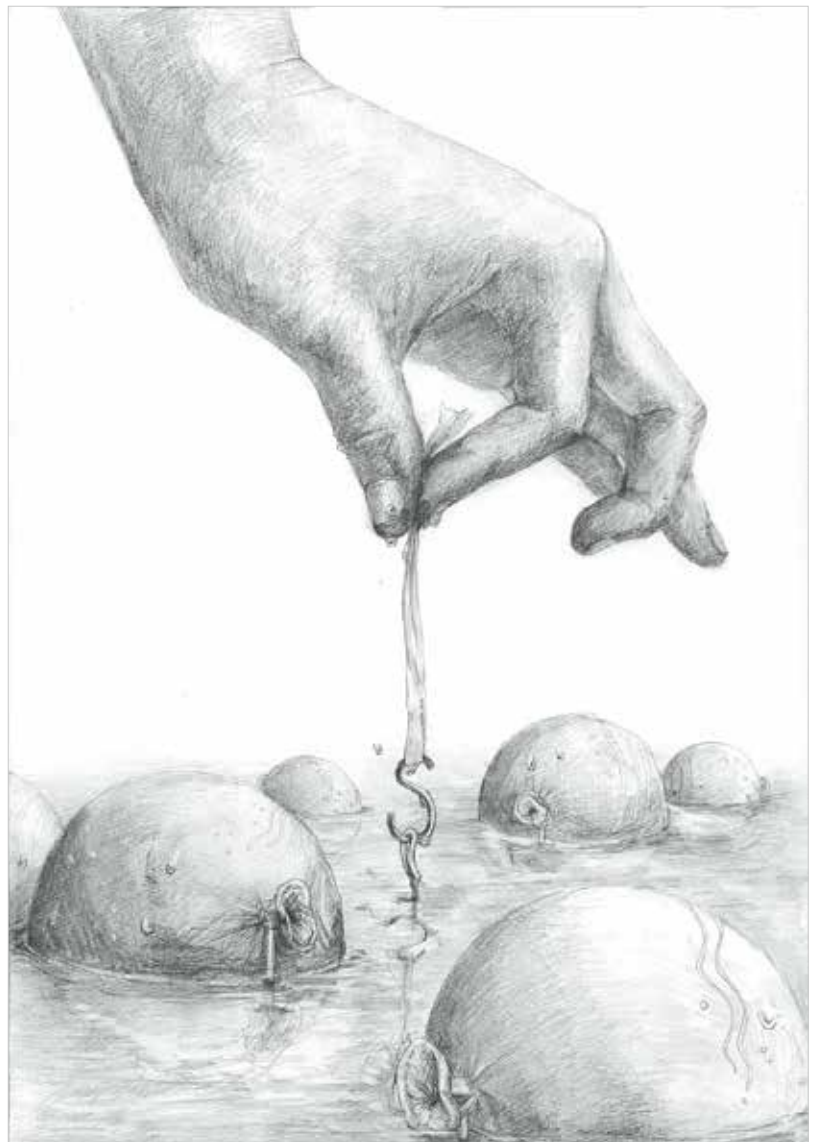
〈問題〉 以下の条件に従い、「手のある風景」を鉛筆描写しなさい。

- 〈条件〉
1. 「手」は1点以上入れること
  2. 「季節」が感じられること
  3. その他「手」と組み合わせるモノ、風景(背景)などの描写に関して自由に発想・構成してよい
  4. 作品に20字以内でタイトルをつけること
  5. 解答用紙(画用紙ボード)は、縦、横のいずれの向きでもよい

## ●作品例 1

タイトル：

夏を釣り上げて



### 本作品の評価ポイント

簡潔なタイトルと共に、作者のイメージした体験がストーリーを感じさせる情景として伝わってくる。水風船や金具、水面など異なった質感表現に加えて、明暗のコントラストを上手く利用した奥行きのある空間表現が心地良い。釣り上げる紙こよりの切れそうな緊張感と慎重に持つ手の表情がマッチしており、「時間」をも感じさせる作品となっている。

〈志願者が持参してよいもの〉（2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください）

鉛筆（黒各種）、消し具（消しゴム、練り消しゴム）、鉛筆削り用具（カッター、紙やすり）、ガーゼ、ティッシュペーパー、擦筆、測り棒、羽根ぼうき、ブラシ

〈大学で用意するもの〉

画用紙ボード、草案用紙

解答のポイント

- 出題テーマを柔軟に解釈し、表現手法をイメージできているか
- 手の表情及び組み合わせるモチーフとの関係性を適切に描写できているか
- 季節感を独自の視点で切り取ったストーリー性・アイデアの表現（描画及び作品タイトル）ができているか
- 画面を有効に使った構成ができているか

●作品例 2

タイトル：

新たな出会いを桜と共に



本作品の評価ポイント

画面を斜めに二分する大胆な構成に加えて、力強く細密な描き込みの「手」と、適度に淡く抜けた背景の「桜」の描写のコントラストが効果的である。

タイトルと作品から伝わるイメージのマッチングも良く、作者の心情が伝わるような表現の工夫が評価できる。

# 一般選抜(中期日程) 個別試験(美術・工芸学科) 模擬問題 デザイン

※この問題は 2026 年度一般選抜 [中期日程] (美術・工芸学科) で使用された問題を一部改編したものです。

## 試験科目インフォメーション (2026年度 学生募集要項掲載)

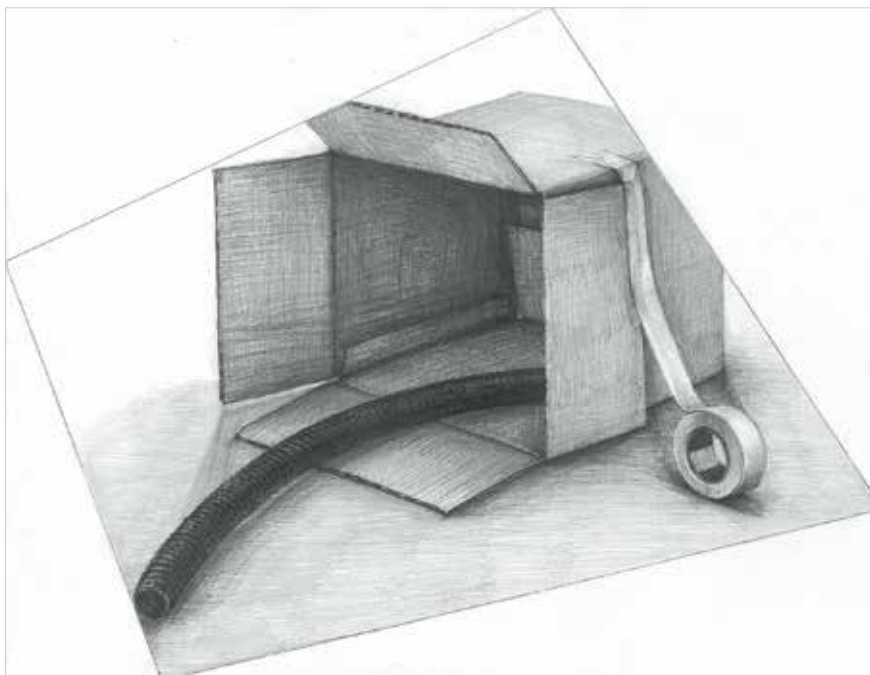
<b>試験時間</b> 180分	<b>評価のポイント</b> 画面全体を考慮しながら対象を捉え、制作の意図と意思を的確に画面に展開できているか
<b>出題趣旨</b> 描写力と構成力をもとに作品を構築する基本的な力と、作品を表現するための総合的な力を見る	

〈問 題〉 以下の条件に従い、①～③の与えられたものを自由に使ってモチーフとし、素描しなさい。

- ①箱(段ボール) 1個
- ②マスキングテープ(18mm) 1巻
- ③フレキシブルホース(約30cm) 1本

- 〈条 件〉
- 1) 解答用紙(描画用紙)は各自の用いる描画材により、木炭紙大画用紙または木炭紙どちらかを選択すること。木炭紙を選択した場合は下敷き用木炭紙(1枚)を使用してもよい。
  - 2) 解答用紙は、縦、横のいずれの向きで使用してもよい。
  - 3) 用紙内に収まる任意の四角形のフレーム(素描する空間を限定する枠)を設定し、そのなかに素描すること。
    - ・四角形は数学的な厳密さを問うものではありません。一般的な四角形と考えてください。
    - ・フレーム(枠)は机に用意された定規を使用してもよい。
    - ・モチーフの設定は各自の机上で行うこと。

### ●作品例 1



#### 本作品の評価ポイント

明快なコントラスト、すなわち的確な明暗と濃淡によってそれぞれの物質の形態感がよく表されていて、対象を捉える基礎的な力がある。もう少しフレキシブルホースのプラスチックとダンボールの質感を表現できるとよい。

フレームの設定はダンボールの切り取り方やフレキシブルホースの先端との距離など意図が判然としないので効果的には見えない。むしろモチーフを見えづらくしてしまっている。もっとシンプルなフレーム設定でよい。

**〈志願者が持参するもの〉 (2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)**

デッサン用具一式 [鉛筆、木炭、消し具 (消しゴム、練り消しゴム)、鉛筆削り用具 (カッター、紙やすり等)、ティッシュペーパー等描画用紙に適したもの]

※布やガーゼ、擦筆、羽根ぼうき、ブラシ、はかり棒、デッサンスケールの持参可

※鉛筆、木炭以外の材料は使用できないが併用は可

**〈大学で用意するもの〉**

木炭紙大画用紙1枚 (650×500mm)、木炭紙2枚 (1枚は下敷きとして使用)、カルトン、イーゼル、描画用紙を固定する目玉クリップ4ヶ、A3草案用紙3枚、定規、モチーフ (箱 (段ボール)、マスキングテープ、フレキシブルホース)

※解答用紙は木炭紙大画用紙、または木炭紙のどちらかを使用

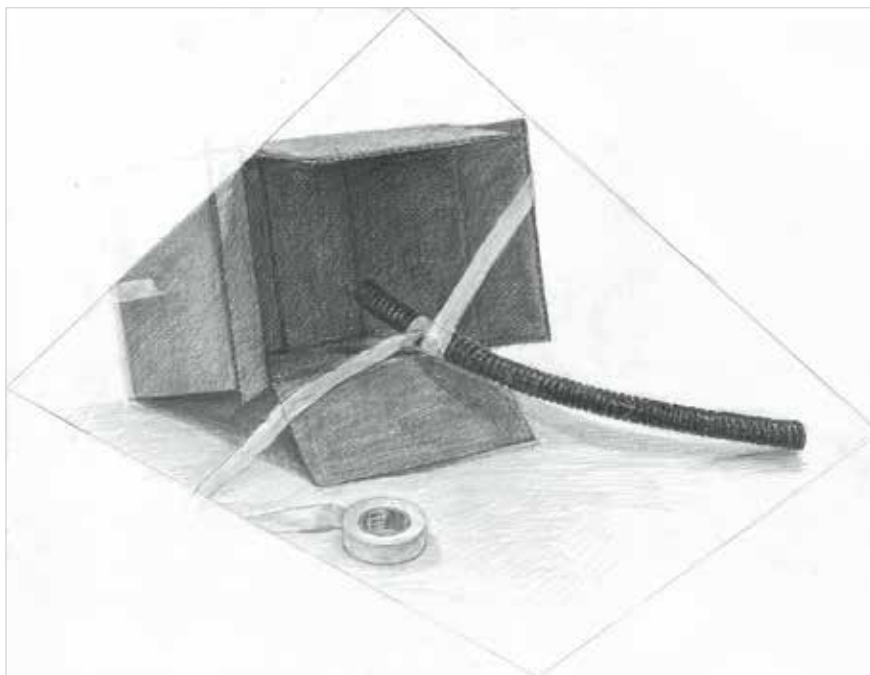
**解答のポイント**

課題は、段ボール箱 (組み立てる前のもの)、マスキングテープ、フレキシブルホース (約30センチ) の、いずれも操作を加えることが可能なもので、それらの関係をどのように扱うのかを考慮することが必要な (必要性を促す) モチーフとした。

また、フレーム設定についても、素描する空間 (描くところと描かないところ) をどのように考えるかを問うものである。このフレームを設定するというのは、美術・工芸分野において制作行為の前提条件となる「場」を認識すること、すなわち自分の表現空間を意識するという、制作の初動の判断を問うことである。また限られた制作時間に対しオーバーサイズともいえる木炭紙大サイズを任意に小さくすることもできる。

これらの2つのポイントは今後のそれぞれの領域の探究について、古典から現代までの表現、そのコンテキスト (文脈) にいかに触れてきたかについて、その深度を問うものである。

**●作品例 2**



**本作品の評価ポイント**

マスキングテープをフレキシブルホースに絡め、箱の開放された蓋に沿わせるなど、それぞれのモチーフの関係性を工夫したところがよい。物質の固有の濃淡も的確に捉えている。箱の内側の暗部の形態 (奥行き) をもう少し表現できればなおよい。

フレームの設定が上記の構成の面白さを削ってしまったのがもったいない。左上の斜辺がダンボール箱の箱形をとらえづらくしてしまい、これが箱の内側の暗さを表現するのを難しくしているようだ。もっとシンプルなフレーム設定でよい。

# 一般選抜(中期日程) 個別試験(美術・工芸学科) 模擬問題 立体造形(粘土)

※この問題は 2026 年度一般選抜 [中期日程] (美術・工芸学科) で使用された問題を一部改編したものです。

## 試験科目インフォメーション (2026年度 学生募集要項掲載)

<b>試験時間</b> 180分	<b>評価のポイント</b> 空間を意識し、構成表現されているか モチーフやテーマが的確に表現されているか 意思・意図が明確に表されているか
<b>出題趣旨</b> 立体感覚、造形力を見る	

〈問 題〉 以下の条件に従い、『漂う (ただよう)』をテーマとして自由に立体表現しなさい。

- 〈条 件〉
- 作品にタイトルをつけること。
  - 解答作品は解答用塑造板上からはみ出しても良いが、安定した状態を保てるようにすること。
  - 解答作品には異物を入れないこと。
  - 配付された粘土は全て使用しなくても良い。
  - 草案用紙はスケッチワーク以外には使用しないこと。

## ●作品例

タイトル：忘れていた春



### 本作品の評価ポイント

- 「漂う」という言葉から多様なイメージを膨らませ、それらをもとに情景や感情を広げながら、物語性を感じさせる発想へと導いている。
- 粘土という素材の特性や扱い方を十分に理解しており、形の整え方や質感の表現、細部のディテールに至るまで丁寧に作り込まれていて、完成度の高い美しさを感じられる。



**〈志願者が持参するもの〉 (2027年度入学試験の持ち物は学生募集要項をご確認ください)**

筆記用具 (鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)、手拭き用タオル

※定規、粘土ベラ等、水粘土の制作に適した道具 (注: 水粘土に異物が混入するような道具は不可) の持参可

**〈大学で用意するもの〉**

解答用塑造板 (30cm角)、水粘土 (4kg)、粘土ベラセット (鉄ベラ1本含む)、粘土練り板 (45cm角)、滑り止めマット1枚、霧吹き、雑巾、手拭き用タオル、A3草案用紙3枚

**解答のポイント**

- テーマに対してどのような発想でアプローチし表現しているか。
- 空間における構成に創意工夫がみられるか。
- 制作に対する意思とアイデアの意図が明確に表現されているか。



公立大学法人

**長岡造形大学**

Nagaoka Institute of Design

## 入学試験に関する問い合わせ

長岡造形大学 入試広報課

〒940-2088 新潟県長岡市千秋4丁目197番地

Tel. 0258-21-3331

Fax. 0258-21-3956

E-mail [nyushi@nagaoka-id.ac.jp](mailto:nyushi@nagaoka-id.ac.jp)

[受付時間]

月～金 9:00～17:00 (土・日・祝を除く)

[大学休業期間]

2026年8月8日(土)～2026年8月16日(日)

2026年12月26日(土)～2027年1月4日(月)